

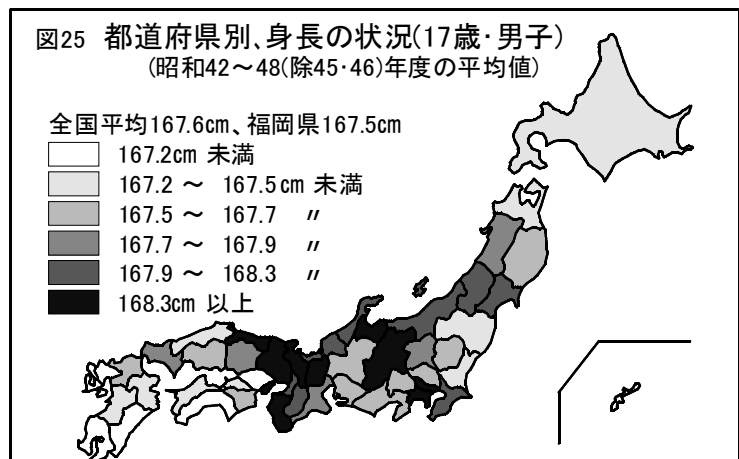
《親の世代の17歳》

③ 親の世代、九州各県の身長・体重は、男女ともに全国平均未満

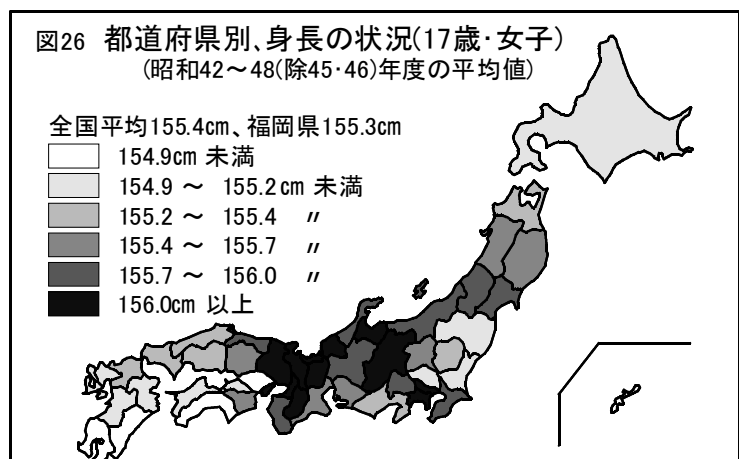
現世代17歳の体格の違いの全国分布は、地域的に比較的まとまったものとなったが、生活様式や食文化に、現在よりは各地方ごとに特色があったと思われる親の世代(※) (昭和24～30年度生まれ) についても、同様にグラフにしたところ、結果は図25～28(統計表19頁参照) のとおりであった。

[※昭和42～48年度のうち、都道府県別の数値が不明の45・46年度を除く5年間分の調査結果平均値を使用。ただし、沖縄県は現存する記録が47・48年度のみであるため、その平均値を使用。]

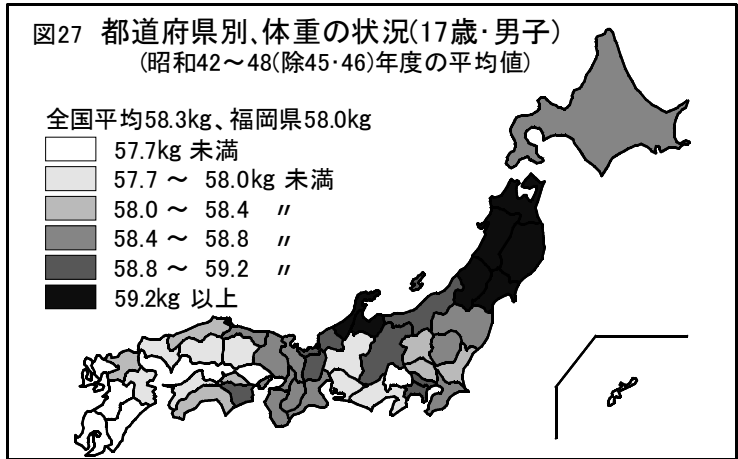
全国における福岡県の身長の状況を見ると、男子は167.5cm、女子は155.3cmで、いずれも全国平均より0.1cm低くなっている。



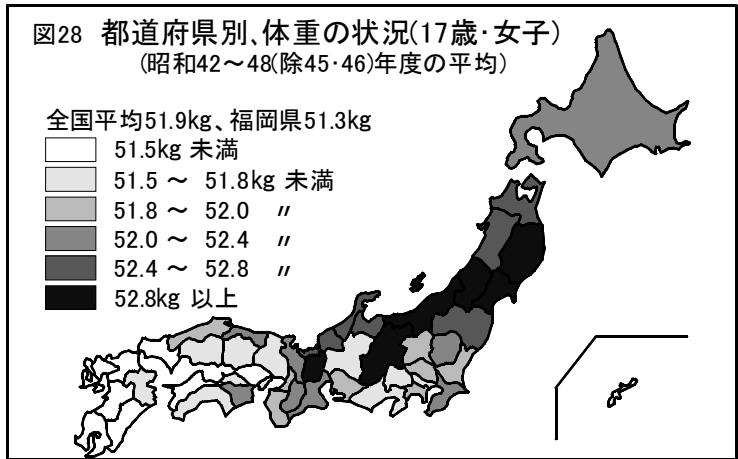
全国的な身長状況を見ると、図25・26のように、男女ともに京都府周辺・東京府・長野県・富山県等で全国平均を大きく上回っており、現世代における分布とは異なったものとなっている。



全国における福岡県の体重の状況を見ると、男子は全国平均より0.3kg軽い58.0kg、女子は0.6kg軽い51.3kgとなっているが、福岡県と全国平均との差は、身長・体重ともに、親の世代より現世代の方が大きくなっている。



全国的な状況を見ると、体重は図27・28のように、男子は主に東北に全国平均を大きく上回る県が多く、現世代のグラフとやや似ているが、女子は東北の一部、信越等に全国平均を大きく上回る県があり、現世代のものとは異なるグラフとなっている。



なお、身長・体重ともに、九州・四国・中国地方には、現世代及び親の世代の双方で全国平均を下回る県が多くなっており、なかでも、親の世代の九州は、全県とも身長・体重・男女別の全区分で、全国平均を下回る結果となっている。